



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 トレーディア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9365 URL
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 古郡 勝英
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務本部長 (氏名) 茨木 信弘 TEL 078-391-7170
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	10,371	21.9	220	27.7	353	23.5	246	27.2
2022年3月期第2四半期	8,508	—	172	—	285	—	193	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 243百万円 (19.3%) 2022年3月期第2四半期 204百万円 (365.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	168.11	—
2022年3月期第2四半期	132.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	11,258	3,395	30.2
2022年3月期	10,112	3,225	31.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,395百万円 2022年3月期 3,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2022年3月期の期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 20円00銭（設立80周年記念配当）

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	3.3	340	13.9	480	7.9	350	14.2	239.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	1,470,000株	2022年3月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	5,831株	2022年3月期	5,831株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	1,464,169株	2022年3月期2Q	1,464,975株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(表示方法の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、7月から8月にかけて新型コロナウイルス感染者数が再び増加に転じたものの、行動制限が課せられることなく、小幅な改善と悪化を繰り返しながら推移しました。当社グループが属する港湾物流業界における貿易に関しましては、歯止めのかからない円安の進行や、原油や輸入原材料の調達コスト高止まり、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、中国のゼロコロナ政策、コンテナ船の混雑解消・スペース不足解消にともなう運賃下落等、不安材料を抱えており、見通しの難しい状況が継続するものと予想されます。

当社グループはこのような状況下におきまして、顧客ニーズに柔軟に対応した積極的な営業展開に努めてまいりました結果、総取扱量は前年同期比3.0%増加し、円安の影響で国際部門の収入が増加したため、営業収入は前年同期比21.9%増の103億71百万円余（対前年同期18億62百万円余増）となりました。損益面につきましては、国際部門と輸入部門の収益性が改善し、営業総利益は前年同期比13.9%増の6億2百万円余（対前年同期73百万円余増）となりました。営業損益は、一般管理費が増加したものの、前年同期比27.7%増の2億20百万円余の利益（対前年同期47百万円余増）、経常損益は、持分法による投資利益等が減少しましたが、受取配当金が増加したため、前年同期比23.5%増の3億53百万円余の利益（対前年同期67百万円余増）となりました。このため、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比27.2%増の2億46百万円余（対前年同期52百万円余増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①輸出部門

輸出部門におきましては、食料品の取扱いが増加したものの、雑貨と機械機器製品が減少し、取扱量は前年同期比で微増となりました。しかしながら、上海ロックダウン解除以降も取扱件数が低迷し、収益性が悪化したことから、輸出部門の営業収入は前年同期比1.6%減の13億32百万円余（対前年同期21百万円余減）、セグメント損失30百万円余（前年同期はセグメント利益22百万円余）の計上となりました。

②輸入部門

輸入部門におきましては、機械製品、繊維製品の取扱いが減少しましたが、雑貨が大きく増加し、取扱量は前年同期比12.3%増加となりました。上海ロックダウン解除以降、取扱件数が前年並みに回復したのにもない通関料収入等も増加し、収益性が改善し、輸入部門の営業収入は前年同期比4.7%増の25億81百万円余（対前年同期1億15百万円余増）となりましたが、セグメント損失1百万円余（前年同期はセグメント損失31百万円余）の計上となりました。

③国際部門

国際部門におきましては、前年同期比で取扱量は減少しましたが、輸出・輸入ともに円安の影響により、日本円で収受する運賃収入が大きく増加したため、営業収入・セグメント利益の大幅増につながりました。輸出においては、インド向け資材や、北米向け事務機器の三国間輸送が堅調に推移し、航空便利用も収入増に寄与しました。輸入においては、上海ロックダウン解除後も衣類関連の取扱いが低迷しましたが、東南アジアからの家具類、衛生関連商品が堅調に推移し、航空便利用も加わったことで収入増となりました。その結果、営業収入は前年同期比38.4%増の63億67百万円余（対前年同期17億67百万円余増）、セグメント利益は前年同期比47.2%増の2億20百万円余（対前年同期70百万円余増）の計上となりました。

④倉庫部門

倉庫部門におきましては、安定した賃料収入により、営業収入は前年同様の29百万円余となりました。セグメント利益は前年並の27百万円余の計上となりました。

⑤その他

船内荷役等の営業収入は前年同期比1.5%増の61百万円余となり、セグメント利益は前年同期比18.8%減の3百万円余の計上となりました。

(注) 上記のセグメントの営業収入には、セグメント間の内部営業収入1百万円余を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億46百万円余増加し、112億58百万円余となりました。流動資産は11億6百万円余増の53億円余、固定資産は39百万円余増の59億57百万円余であります。流動資産増加の主な要因は、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産、立替金の増加等によるものであります。固定資産増加の主な要因は、有形固定資産の減少がありますが、投資その他の資産、無形固定資産の増加等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ10億37百万円余増加し、56億74百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、61百万円余減少し21億88百万円余となりました。流動負債増加の主な要因は、短期借入金、その他の増加等によるものであります。固定負債減少の主な要因は、リース債務の増加がありますが、長期借入金の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億70百万円余増加し、33億95百万円余となりました。これは、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第2四半期までの収益の推移、当社グループの状況等を勘案し、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細については、本日公表の「業績予想の修正等に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	784,056	1,393,417
受取手形、売掛金及び契約資産	2,028,138	2,269,089
立替金	1,221,690	1,484,691
その他	162,395	157,655
貸倒引当金	△2,010	△4,220
流動資産合計	4,194,271	5,300,632
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,131,901	1,090,134
機械装置及び運搬具（純額）	10,471	25,866
工具、器具及び備品（純額）	4,173	3,615
土地	1,781,656	1,781,656
リース資産（純額）	110,322	102,659
有形固定資産合計	3,038,524	3,003,932
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	39,278	66,736
無形固定資産合計	73,838	101,296
投資その他の資産		
投資有価証券	1,378,424	1,377,319
差入保証金	774,346	774,190
退職給付に係る資産	37,112	57,709
その他	619,885	648,425
貸倒引当金	△4,397	△5,168
投資その他の資産合計	2,805,372	2,852,477
固定資産合計	5,917,735	5,957,706
資産合計	10,112,006	11,258,339

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,406,156	1,518,468
短期借入金	2,586,139	3,176,139
リース債務	51,378	54,035
未払法人税等	90,162	119,507
賞与引当金	264,130	268,155
その他	239,524	538,344
流動負債合計	4,637,490	5,674,649
固定負債		
長期借入金	1,994,350	1,911,280
リース債務	78,944	103,527
役員退職慰労引当金	75,822	81,522
繰延税金負債	86,853	78,604
その他	13,110	13,110
固定負債合計	2,249,080	2,188,045
負債合計	6,886,571	7,862,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	170,427	170,427
利益剰余金	2,008,184	2,181,008
自己株式	△11,646	△11,646
株主資本合計	2,901,964	3,074,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	300,168	288,352
為替換算調整勘定	13,069	29,162
退職給付に係る調整累計額	10,232	3,339
その他の包括利益累計額合計	323,470	320,855
純資産合計	3,225,435	3,395,644
負債純資産合計	10,112,006	11,258,339

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業収入	8,508,912	10,371,528
営業費用	7,979,740	9,768,880
営業総利益	529,171	602,647
一般管理費	356,374	382,049
営業利益	172,796	220,598
営業外収益		
受取利息及び配当金	48,890	92,427
持分法による投資利益	40,785	19,464
その他	59,350	53,549
営業外収益合計	149,027	165,441
営業外費用		
支払利息	31,101	31,411
その他	4,781	1,576
営業外費用合計	35,882	32,987
経常利益	285,941	353,052
特別利益		
固定資産売却益	—	29
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	29
特別損失		
固定資産除却損	7	0
特別損失合計	7	0
税金等調整前四半期純利益	285,933	353,082
法人税等	92,402	106,940
四半期純利益	193,531	246,142
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	193,531	246,142

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	193,531	246,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,644	△11,815
退職給付に係る調整額	△6,139	△6,892
持分法適用会社に対する持分相当額	8,015	16,093
その他の包括利益合計	10,520	△2,615
四半期包括利益	204,051	243,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	204,051	243,526
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	285,933	353,082
減価償却費	83,567	80,836
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△27,698	△30,528
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,823	2,981
受取利息及び受取配当金	△48,890	△92,427
支払利息	31,101	31,411
持分法による投資損益 (△は益)	△40,785	△19,464
有形固定資産除売却損益 (△は益)	7	△29
その他の損益 (△は益)	△1,987	△2,015
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15,594	4,025
営業債権の増減額 (△は増加)	△94,514	△241,722
立替金の増減額 (△は増加)	△90,441	△263,000
その他の資産の増減額 (△は増加)	△22,954	△9,319
営業債務の増減額 (△は減少)	103,356	112,312
前受金の増減額 (△は減少)	73,572	328,246
その他の負債の増減額 (△は減少)	△28,765	△11,048
小計	242,918	243,338
利息及び配当金の受取額	55,566	92,427
利息の支払額	△43,304	△28,468
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△56,496	△77,724
営業活動によるキャッシュ・フロー	198,684	229,572
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,941	△32,962
有形固定資産の売却による収入	—	30
無形固定資産の取得による支出	△11,600	—
投資有価証券の取得による支出	△2,025	△2,388
投資有価証券の売却による収入	0	—
貸付けによる支出	△30,000	—
貸付金の回収による収入	33,000	6,600
その他の収入	2,805	16,017
その他の支出	△15,418	△13,383
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,179	△26,086
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	590,000
長期借入金の返済による支出	△83,069	△83,069
配当金の支払額	△43,990	△73,317
その他の支出	△27,664	△27,738
財務活動によるキャッシュ・フロー	△154,724	405,874
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,219	609,360
現金及び現金同等物の期首残高	747,674	784,056
現金及び現金同等物の四半期末残高	745,454	1,393,417

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(表示方法の変更)

(キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の負債の増減額」に含めていた「前受金の増減額」は、連結財務諸表利用者の理解に資するため、当第2四半期連結累計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の負債の増減額」に表示していた44,807千円は、「前受金の増減額」73,572千円、「その他の負債の増減額」△28,765千円として組替えております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫				
営業収入								
外部顧客への営業収入	1,354,188	2,466,158	4,599,781	29,460	59,323	8,508,912	—	8,508,912
セグメント間の内部営業収入又は振替高	—	—	—	—	1,320	1,320	△1,320	—
計	1,354,188	2,466,158	4,599,781	29,460	60,643	8,510,232	△1,320	8,508,912
セグメント利益又は損失(△)	22,629	△31,037	149,796	26,515	4,893	172,796	—	172,796

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△1,320千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫				
営業収入								
外部顧客への営業収入	1,332,506	2,581,304	6,367,740	29,760	60,217	10,371,528	—	10,371,528
セグメント間の内部営業収入又は振替高	—	—	—	—	1,320	1,320	△1,320	—
計	1,332,506	2,581,304	6,367,740	29,760	61,537	10,372,848	△1,320	10,371,528
セグメント利益又は損失(△)	△30,081	△1,715	220,484	27,936	3,974	220,598	—	220,598

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△1,320千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。